

Program at a glance

2023年8月25日(金) 11:30 開場 別府国際コンベンションセンター 3F 国際会議室

演題番号	時間	発表者	演題	座長
プレオープニング・ ランチョンセミナー (共催 ノバルティスファーマ株式会社)	12:00-13:00	鈴木 祐介	IgA 腎症の病因解明と臨床応用	要 伸也
開会の辞	13:05-13:10	堀内 孝彦	開会の挨拶	
追悼講演	13:10-13:25	塚本 浩	Volanakis教授の思い出	木下 タロウ
セッションA (補体価の変動しうる病態)	13:25	綾野 雅宏	全身性エリテマトーデスにおける血清補体蛋白の経時的变化	高橋 令子 小野 伸之
	13:40	八木 正典	COVID-19 mRNA ワクチン開発の軌跡	
	13:55	柏戸 佑介	全身性エリテマトーデスの mRNA ワクチン接種前後における血清補体蛋白の解析	
	14:10	辻本 弘	妊産婦における補体タンパク質濃度の測定とその推移についての検討	
break	14:25-14:30			
教育講演シリーズ (HAE) (共催 武田薬品工業株式会社)	14:30	宮田 敏行	遺伝性血管性浮腫の病態解析・発症機序	大澤 勲
	15:00	本田 大介	HAE における治療目標の変遷とその意義の再認識	
	15:30	堀内 孝彦	遺伝性血管性浮腫(Hereditary angioedema: HAE) 診療ガイドライン改訂 2023 年版	
break	16:00-16:05			
セッションB (腎疾患)	16:05	小島 糾	補体欠損症に糸球体腎炎を合併した2症例	関根 英治 赤津 裕康
	16:20	金子 仁彦	抗 MOG 抗体関連疾患における髄液補体活性化の解析	
break	16:35-17:00			
特別講演	17:00-18:00	磯部 紀子	神経免疫疾患における補体の役割	堀内 孝彦
懇親会	18:15-20:00	同センター 2F レセプションホール		

2023年8月26日(土) 8:30 開場 別府国際コンベンションセンター 3F 国際会議室

演題番号	時間	発表者	演題	座長
セッションC (HAE)	9:00	宮田 敏行	HAE と C1 インヒビターに関連した血栓症に関する文献的考察	塚本 浩 今井 優樹
	9:15	本田 大介	遺伝性血管性浮腫の急性発作時における FDP/D-dimer 比	
	9:30	松浦 幸	反復する腹痛を認め、新規の変異を確認した、遺伝性血管性浮腫の一例	
	9:45	柴富 和貴	腹痛の鑑別診断に苦慮した HAE の姉妹例	
	10:00	三苫 弘喜	頻回な発作を呈する遺伝性血管性浮腫症例における長期的な発作抑制治療	
	10:15	中山 剛志	低用量ビル服用後に腹痛発作を繰り返した遺伝性血管性浮腫の一例	
	10:30	薬師寺 泰匡	本邦における HAE-PLG の実態	
break	10:45-10:50			
総会・優秀賞表彰	10:50-11:50			井上 徳光
ランチョンセミナー (共催 サノフィ株式会社)	12:00-13:00	Michael Storek	The discovery and development of sutimlimab, first-in-class complement C1s inhibitor	西村 純一
		植田 康敬	寒冷凝集素症治療における抗 C1s 抗体療法の実際	
break	13:00-13:10			
セッションD (基礎研究)	13:10	金田 誠正	コイ血清中の溶血反応阻害タンパク質の精製と同定	大谷 克城 中尾 実樹
	13:25	今井 優樹	公開データベースを用いたヒト頭頸部癌におけるC5aR を介した制御性 T 細胞の制御メカニズムの解析	
	13:40	物江 洋人	MASP-1欠損MRL/lprマウスではループス様腎炎による腎機能障害の発症が遅延し、生存期間が延長する	
	13:55	金 恒秀	factor H点変異マウスにおける補体副経路依存性臓器障害へのMASP3欠損の影響	
break	14:10-14:15			
シンポジウム (新しい補体疾患と抗補体薬の可能性)	14:15	奥 健志	抗C1q抗体と周産期の組織剪定異常:流産と自閉症について	井上 徳光 水野 正司
	14:40	日和 良介	ANCA 関連血管炎の病態における補体の役割と、C5a 阻害薬の有効性	
	15:05	西村 純一	溶血性貧血の新規抗補体薬	
break	15:30-15:35			
セッションE (新規治療薬)	15:35	宮本 勝一	抗 C5 抗体製剤を導入した視神経脊髄炎の 2 症例	村上 良子 若宮 伸隆
	15:50	植田 康敬	Oral complement factor B inhibitor iptacopan monotherapy improves hemoglobin to normal /near-normal levels in paroxysmal nocturnal hemoglobinuria patients naïve to complement inhibitors: Phase III APPOINT-PNH Trial	
	16:05	植田 康敬	Oral iptacopan monotherapy has superior efficacy to anti-C5 therapy in patients with paroxysmal nocturnal hemoglobinuria and residual anemia: Results from the Phase III APPLY-PNH Study	
	16:20	田中 宏昌	好中球細胞質抗体(ANCA)関連血管炎患者における補体異常	
	16:35	西村 純一	発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)に対するクロバリマブ長期投与: COMPOSER 試験非盲検継続投与の結果	
奨励賞表彰 閉会の辞	16:50			井上 徳光 堀内 孝彦

注) 諸事情により変更の可能性があります。